地方小出版情報誌
アクセス

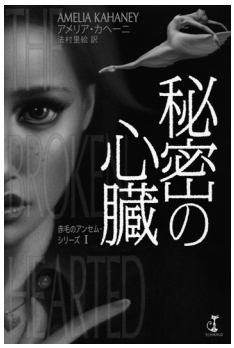
毎月1回　1日発行
購読料　定価150円（本体139円）
年間1,500円（税込み）
振替　00120-0-19017

発行所　㈱地方・小出版流通センター
編集　アクセス編集委員会
〒162-0836　東京都新宿区南町20
TEL.03-3260-0355　FAX.03-3235-6182

独り出版社を立ち上げ、早3年
――書籍暗黒時代……。「それがなにか？」

文・チャイコ代表　田中久子

『ミスター・Bの女神』46判／上製／346頁／本体2250円＋税／ISBN978-4-9907661-0-8／2014年10月22日刊



『秘密の心臓』A5判変形／並製／388頁／本体1850円＋税／ISBN978-4-9907661-2-2／2016年1月19日刊

『悪の道化師』A5判変形／並製／336頁／本体1750円＋税／ISBN978-4-9907661-4-6／2016年4月19日刊

東日本大震災が起きた2011年3月の、25日に新潮社を定年退職した。2年間は充電期間にあて、それから法人立ち上げの準備に入った。第二の人生でもしこしこと活字にかかわっていたい。活字で〝世界〟を構築する作業が好きなのだ。

独り出版社を始めたのには経緯がある――法人にしなくても、フリーで企画を出版社に売り込み、自分で翻訳あるいは取材・執筆をすればいいじゃない？　と助言してくれる人もいた。しかし、取材記者、ライター、書籍編集者として働いてきた経験から言って、持ち込みが採用される確率は低いし、人間関係が面倒だ。第二の人生では、自分がやりたいこと、自分で決めたことを、自分でやると決めていた。

天職のために

それで考えたのが、自分が読んで面白い（これが一番肝心）、人様にも読んでもらいたい、出版する意味があると信じた作品を少部数作り、自分のネットショップで販売するということだった。友人のなかに、限定版だがその方法で成功している人がいる。チャイコの場合は需要があれば増刷をする。

その時点で翻訳出版したいアメリカの作品があったので、翻訳権が空いているかと著作権エージェントに打診した。空いていた。だが原著者は個人には売らない、法人でないと駄目だと言われた――そこで即決した。株式会社を作るしかない！　天職のためだ！

手続きは行政書士にすべてお任せで、株式会社チャイコはつつがなく2013年7月3日に設立された。翻訳作業をしながら、会社のロゴとシンボルマークのデザインを発注し、外部のウェブ管理人にネット販売のステーションとなるＨＰ＆ショップの工事をスタートしてもらった。この管理人はチャイコの紙の本の電子書籍化も担当している。ＨＰには、四角い枠のなかに仮タイトルを入れ、「Now editing!」と記した刊行告知を載せ、サイトを周知させるために編集者のブログを週一更新ペースで書き始めた。

ミスター・Bの女神

翻訳作業が軌道に乗ってきたのは10月ぐらいからだったが、それ以降も雑事があって、原稿を印刷所に入れたのは2014年7月下旬だった。ほぼ完璧な原稿で入稿したので、8月、9月で初校、再校の校閲、念校、責了と進み、2014年10月22日に刷了。予定通りその日が発売日になった。『ミスター・Bの女神』の誕生だ。

『ミスター・Bの女神』はチャイコの記念すべき刊行第一弾なので、表紙、カバー、帯のデザインも自分で行った。本当に愛おしい作品だ。革命後のロシアから脱出し、アメリカに渡った世界的に有名なバレエ振付家のジョージ・バランシンと、彼の四番目の妻で27歳にして小児マヒになった美しいバレリーナの生涯が、事実に基づき小説化されている。バランシンのロシア的で不可解な人間性と、悲劇的な妻の逞しさがくっきりと浮かび上がっている。自分で作っておきながら、何度読んでも読み飽きることがない。

問題は、売れ行きだ。知人、友人、ブログの読者、クチコミから入っていた予約分の発送を済ませ、関係者への献本、マスコミへの新刊案内／書評依頼用の送本が落ち着くと、11月中旬でぱたっと動きが止まってしまった。

地方・小出版流通センターとの出会い

あら、どうしよう、強がっていたものの、やっぱり書店でも売らないとだめかも、と反芻していたその頃、ジュ

ンク堂書店池袋本店からトークセッションの案内が来た。主催は日本出版者協議会、題目が「出版のカタチをさぐる」第1回とされており、講師も聞き手も独り出版社を立ち上げ活動している方だった。講師は、出したい本を作るために大学の学食で働いていると話していた。自然体の天職人だ。

二次会に参加してさまざまな人と話しているうち、チャイコのように初版部数の少ない極小出版社でも、条件がそろっていれば扱ってくれる取次があると知った。それが「地方・小出版流通センター」だった。

早速登録をして、12月から書店に配本してもらうようにした。紀伊国屋書店やジュンク堂、ブックファーストなどに並んでいるとやはり鼻が高い。コアな層をターゲットに、自社のショッピングサイトで細々と売っていくと同時に、リアル書店にも商品が並んでいる。願ったり叶ったりだ。取引申請をしたとき、川上社長が呆れていた。「うちに来なかったら、どうするつもりだったの？」無知と無謀は紙一重、ということだ。

『ミスター・Bの女神』は2015年4月、日本図書館協会選定図書になった。急いで金色シールを作り、以後の販売、納品分には帯の空きスペースに貼って目立たせた。著名な振付家についての書籍なので、ダメ元で営業をしたら、バレエショップ「シルビア」や新国立劇場のショップ「ベリーベ」でも置いてくれるようになった。

課題はセルフプロデュース

第二弾『秘密の心臓』（2016年1月）、第三弾『悪の道化師』（同4月刊）は17歳のバレリーナが主人公の前編・後編物で、若い人に読んでもらおうと刊行した。アクションミステリで、文芸色も社会性もある。翻訳は現役のときに担当していた訳者さん、装幀は古巣で一緒に仕事をしたベテランデザイナー、装画はプロの画家による描きおろし。カバーを広げると一幅の続き絵になっている。ジャケ買いしてくれる読者もいる。まさに納得の作品だ。

売れ行き？　若い人というより、年齢に関係なくミステリ好きの男女が買ってくれているようだ。まだ増刷はしていない。でもドンマイだ。知名度がない、広告を出さ（せ）ない、配本数が少ないチャイコの本が読者に届きにくいのは当然だ。

これからの課題は、作品をメディアで目立たせ、話題になること。それで知名度が上がり、実売数が増えれば、書店も取次も儲かる。共に栄える。書籍暗黒時代を、読者や書店や取次の減少だけのせいにすることはできない。読み応えのある本の存在を読者に認知させる方法と手段が求められている。チャイコはいま、セルフプロデュースの方法を模索している。

第4弾はオリジナルノンフィクションになる。ただいま自分独りで鋭意取材、執筆中。年内11月の刊行を予定している。天職だから仕事が楽しくてたまらない。

＊

（たなか　ひさこ／チャイコ代表）

新刊ダイジェスト

※価格は税込（消費税率8%）表示です。

『大塚康生の機関車少年だったころ』●大塚康生著

『ルパン三世』等のアニメーションで知られる大塚康生氏は、筋金入りの蒸気機関車マニアでもあった。戦中から戦後にかけて、郷里である津和野のみならず小郡・下関・筑豊と遠征して機関区に通いつめては大量のスケッチを残し、上京してカメラを手に入れてからは、帰省途中の米原や吹田、あるいは東京で機関車の写真を撮りまくる。そんな機関車と共に過ごした日々の記録が一冊の本にまとめられました。大塚氏自身「機関車の動き」を学んだと述べるように、スケッチは動輪をはじめとした足回りの精緻さが際立っています。中には今やあまり資料の残っていない機関車もあり、貴重な記録のひとつと言えるでしょう。そして大塚氏の語る、スケッチを描いていた当時の思い出には、現在では考えられないようなエピソードもあり、時代を感じさせます。かつて共に働いたこともあるという鉄道写真家の南正時氏の編集により、蒸気機関車好きにはたまらない一冊となっています。

◆2160円・A5判・191頁・**クラッセ**・東京・2016/5刊・ISBN9784902841206

『いもうとかいぎ』●石黒亜矢子著

虫たちが集まる森の中。「ずるいずるい、ねぇねはずるい」と怒りながら、だんご虫のまんまるこ、出目金のでめこ、女郎ぐものじょろこの前に現れた蝶のてふちゃん。

姉と留守番をしていたら何でもダメダメと言われて意地悪をされてしまったので、ねぇねを反省させるための“いもうとかいぎ”を開く。三人もそれぞれ姉にされた仕打ちを告白しつつ、こらしめ方を提案するが、じょろこが糸でぐるぐる巻きにしてやると言うと、てふちゃんは「だめー！」と憤慨。そんなことをしたらねぇねがかわいそうと思いやりを見せるが、雨が降って来て、おうちに帰りたいと心細くなる四人は無事にねぇねと仲直りが出来るのだろうか。

妖怪画家として注目を集める作者の絵本。愛猫家でも知られ、てふちゃんは猫にそっくり。虫を擬人化して姉妹や友達との触れ合いが描かれ、不思議で可愛い世界が広がっている。

◆1620円・A4判・32頁・**ビリケン出版**・東京・2016/4刊・ISBN9784939029615

『安高団兵衛の記録簿　ー「時間」と競争したある農民の一生』●時里奉明著

安高団兵衛は明治20年に福岡県芦屋町に野菜農家の長男として生まれ、その地で一農民として生涯を送った。昭和42年に70歳で亡くなった時、11歳から始まる「日記」、「農業作物別耕作明細表」、「風方向別統計表」、「下肥溜壺各壺別収支表」、半世紀に及ぶ「就寝時間入浴回数統計簿」、「家族健康他行休業統計表」、熱心に務めた地域活動に関わる「区長勤務ニ関スル帳簿」など16種の記録類を中心に1万2千点もの史料が残された。就寝時間統計からは団兵衛自身で、長年の平均睡眠時間を5時間40分と割り出している。著者をして「記録魔」と言わしめた団兵衛であるが、記録マニアであった訳ではない。それらは常に自家の生活改善に活かされ、国の防風林伐採による被害補償額算定の根拠にもなった。こんな農民がいたのかと驚嘆する他はない。「二宮尊徳を尊敬し、農業の本文を全うして、国に尽くす」。一人の農民の確かな「人となり」が、数々の記録の中から立ち上ってくる。

◆2052円・四六判・199頁・**弦書房**・福岡・2016/3刊・ISBN・9784863291324

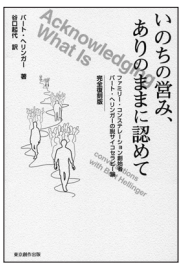
『舞台歴程　ー凛として』●伊藤巴子著

『夕鶴』の劇作家・木下順二氏らの推奨により本物の演劇人にのみ与えられるあの山本安英賞を受賞し、世界的な名作『森は生きている』の主演で通算2000公演超えの記録を樹立！——俳優座養成所を出て「劇団仲間」創設以来、フリーランスで活躍する現在までの60年余、『森は生きている』ほか数かずの記念碑的作品を演じつづけ、要職に就きながら中国をはじめ各国との演劇交流に尽力し、全国各地の児童青少年演劇活動の支援や指導でも知られる伝説的な舞台女優初めての書。

北海道から沖縄まで全国各地で芝居を創りつづけたこれまでの舞台一筋の軌跡と、国内はもとより中国・韓国・豪州・ハワイ・西欧・北欧・ロシア・キューバへと世界の演劇を観つづけた感動・発見の旅、そして揺るぎなくも温かく柔らかい視点からの劇評と演劇人評等あわせて116篇を収録。　名女優は、舞台の上で凛として立ち、時間も空間も、おとなと子どもの境界線も飛び越える。

◆3024円・四六判・398頁・**一葉社**・東京・2016/5刊・ISBN9784871960595

『いのちの営み、ありのままに認めて　ーﾌｧﾐﾘｰ・ｺﾝｽﾃﾚｰｼｮﾝ創始者ﾊﾞｰﾄ・ﾍﾘﾝｶﾞｰの脱ｻｲｺｾﾗﾋﾟｰ論 完全復刻版』●バート・ヘリンガー著／谷口起代訳



ファミリー・コンステレーションとは家族療法的なセラピーのひとつ。ヘリンガーにとってクライアントの病原性の葛藤の在処は、個人の無意識にではなく、クライアントが属する「家族システム」内にあり、それは「魂のもつれ」と表現される。それを明るみに出すためにヘリンガーは、セラピーの中で、家族に見立てた代理者をクライアントに配置させ、その代理者の配置場所や体の向き等を手掛かりにするのだが、多くは、尊厳を拒否されたまま亡くなったり、排除された近親者に焦点が当てられる。ここでは癒しとは、彼ら排除された近親者が敬意と尊厳をもって家族システムに統合されることである。

このように個人を超えた魂の秩序を透視するかの如きヘリンガーにとって、「自己実現」や「個人の自由」はさほど意味を持たない。魂の重みは、日々厳しい現実と直面する父親や母親や、それぞれのフィールドで真摯に生きる人々にこそあるのである。

◆2700円・四六判・252頁・**東京創作出版**・千葉・2016/6刊・ISBN9784903927244

地方小出版流通センター　ジャンル別新刊案内

2016年5月1日～31日
流通センター着

※各ジャンル内での出版社名は所在地の北から南の順に並んでいます。

価格は税込（消費税率8%）表示です。

【雑誌】

◆ゆきのまち通信　１６４　企画集団ぷりずむ編　Ａ５　50頁　５００円　企画集団ぷりずむ［青森］978-4-503-20844-6　16/05

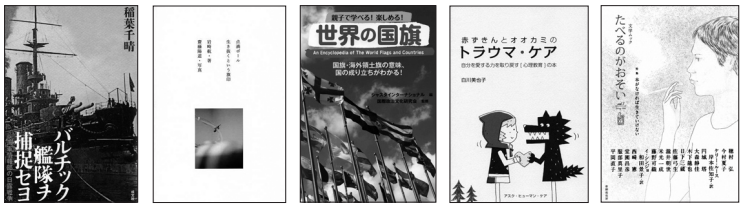
◆会津人群像　Ｎｏ．３２　阿部　隆一編　Ｂ５　137頁　１２９６円　歴史春秋社［福島］978-4-89757-883-5　16/05

売行良好書

期間：2016年5月15日～6月15日

［出荷センター扱い］※価格は税込（消費税率8%）表示です。

(1)『バルチック艦隊ヲ捕捉セヨ』3240円･成文社　(2)『点滴ポール　生き抜くという旗印』1512円･ナナロク社　(3)『世界の国旗』1944円･シャスタインターナショナル　(4)『赤ずきんとオオカミのトラウマ・ケア』1944円･アスク・ヒューマン・ケア　(5)『文学ムック　たべるのがおそい』1404円・書肆侃侃房　(6)『へろへろ　雑誌『ヨレヨレ』と「宅老所よりあい」の人々』1620円・ナナロク社　(7)『世界でいちばんやさしい料理教室』1404円・ベターホーム出版局　(8)『静岡の山　日帰りコース１５８』2484円・羽衣出版　(9)『グルメの教養』1404円・アーバンプロ出版センター　(10)『フーリエの冒険　新装改訂版』3780円・言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ　(11)『常心是非常』1944円･壮神社　(12)『鮎川義介　日産コンツェルンを作った男』2376円･弦書房　(13)『がんばれ！児童図書館員』1944円・東京子ども図書館



［三省堂書店神保町本店　センター扱い図書］※価格は税込（消費税率8%）表示です。

(1)『昭和プロレスマガジン　３９』1000円・昭和プロレス研究室　(2)『東京かわら版　６月号』500円･東京かわら版　(3)『本の雑誌　３９７号』720円･本の雑誌社　(4)『奥多摩登山詳細図　東編　全１３０コース』950円・吉備人出版　(5)『歴史家の城歩き』2700円・高志書院　(6)『ＪＵＳＴ　ＩＮ　ＳＦ』1836円・本の雑誌社　(7)『三角形』360円・暗黒通信団　(8)『円』339円・暗黒通信団　(9)『点滴ポール　生き抜くという旗印』1512円･ナナロク社　(10)『たべるのがおそい　ｖｏｌ．１』1404円・書肆侃侃房

［ジュンク堂書店池袋店　地方出版社の本―センター扱い図書］※価格は税込（消費税率8%）表示です。

(1)『文学ムック　たべるのがおそい創刊号』1404円・書肆侃侃房　(2)『太陽王アンドレ･ブルトン』2430円･エディションイレーヌ　(3)『奥武蔵登山詳細図　武甲山･武川岳･伊豆ヶ岳･丸山　全１３０コース』950円･吉備人出版　(4)『熊本城を極める』864円･サンライズ出版　(5)『きみを嫌いな奴はクズだよ』2052円･書肆侃侃房　(6)『漱石くまもとの句　２００選』1296円・熊本日日新聞社　(7)『緊急出版　特別報道写真集　平成２８年熊本地震』1000円・熊本日日新聞社　(8)『歴史家の城歩き』2700円･高志書院　(9)『那覇の市場で古本屋』1728円･ボーダーインク　(10)『不登校は１日３分の働きかけで９９％解決する』864円・リーブル出版　(11)『古代ギリシャ語語彙集　改訂版』3240円・大阪公立大学共同出版会

以下ホームページ等でも各種情報提供を行なっております。ご利用ください。
ＵＲＬ：http://neil.chips.jp/chihosho/　　ツイッター公式アカウント：@local_small

トピックス ―― ★★★

▼福岡市の出版社・書肆侃侃房（しょしかんかんぼう）刊【たべるのがおそい】創刊号に掲載された今村夏子さんの『あひる』が、第155回芥川賞候補作に選ばれました。今村さんは2010年～2011年に『こちらあみ子』で太宰治賞や三島由紀夫賞を受賞していて、今回の『あひる』は久々の作品。また【たべるのがおそい】は小説･翻訳･短歌を中心にした文芸誌ですが、芥川賞は通常、【新潮】や【文学界】【群像】【文藝】【すばる】といった大手５誌からノミネートされるのが普通で、九州の文芸誌からの候補作は異例だとのこと。第155回芥川賞は7/19発表です。

▼東京のちひろ美術館にて企画展【村上春樹とイラストレーター／佐々木マキ、大橋歩、和田誠、安西水丸】開催中です。8/7まで。同展覧会の図録を兼ねた書籍が７月にナナロク社より刊行されます。文庫サイズ上製本。本体1800円。

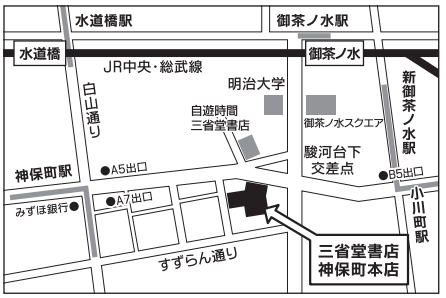
郵便販売のご注文方法

◎お名前、お届け先（郵便番号、住所）、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までＦＡＸでご連絡ください。
◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせて頂きます。基本的にメール便は、一冊２１０円でお送り致します。（メール便の到着は、発送してから３～４日かかります。）お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合せ下さいませ。
◎なお書籍お買上総計（税抜き価格）が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせて頂きます。

★地方・小出版流通センター
ＦＡＸ：０３－３２３５－６１８２

地方・小出版物のデータになります。綴じて保存してください。

三省堂書店
BOOKS SANSEIDO
営業のごあんない

神保町本店 ４階
地方出版・小出版物フロア
営業時間　10：00 AM ～ 8：00 PM
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1
TEL. 03-3233-3312(代)
URL. http://www.books-sanseido.co.jp

本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。